

主な内容

- 1~3.....24年度決算を検証
- 4.....市職員の給与などの状況、国津の杜の行事

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

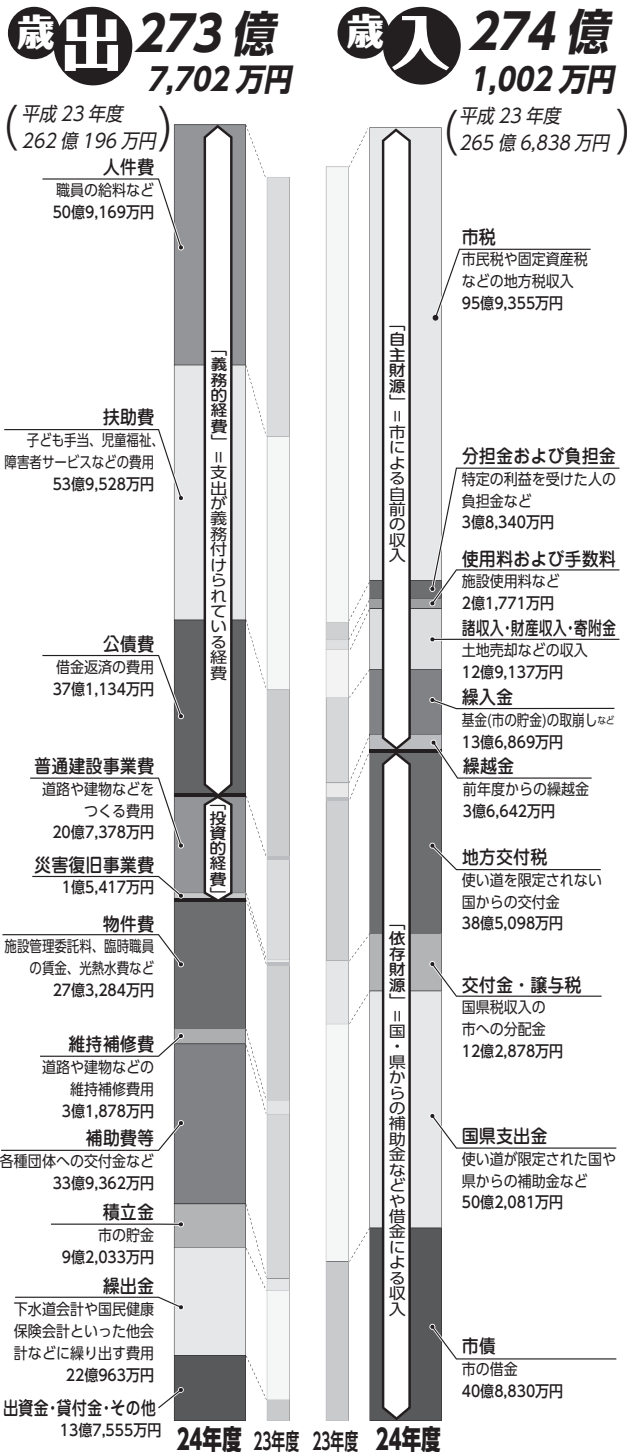
# 24年度 決算を検証



平成24年度一般会計、特別会計、企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。平成24年度は、当初予算で5億2千万円の赤字を見込むなど、財政健全化に向けた正念場の年でありました。一般会計では、黒字決算を維持したものの、平成23年度からの繰越金を差し引いた単年度収支では赤字となりました。今号では、平成24年度決算をお知らせし、市の財政状況を検証します。

## 一般会計実質収支 歳入歳出差引額 翌年度繰越財源

### 3,071万円の黒字 (3,300万円 - 229万円)



1~3ページで表記している金額は、表示単位未満を四捨五入してあります。そのため、合計が合わない場合があります。

### 検証1 一般会計歳入

「自主財源」(市による自前の収入)が2億990万円の減。収納強化対策や有料広告料の確保をはじめ、財産売却の前倒しに取り組んだものの、市税では、土地の下落や家屋の評価替などの影響による固定資産税の減などにより、6,378万円の減となりました。

「依存財源」(国・県からの補助金などや借金による収入)は10億5,153万円の増。地方交付税は、平成22年度の法人市民税の一時的な増収の影響に伴い、平成23年度が大幅に減となっていたことから、平成24年度は平成23年度と比べ、4億2,246万円の増となりました。市債は、土地開発公社解散に伴う第三セクター等改革推進債の発行などにより、平成23年度と比べ、7億2,040万円の増となりました。

### 検証2 一般会計歳出(性質別)

「義務的経費」では、扶助費や公債費が増となりましたが、退職者数の減や職員の適正配置に伴い人件費が減となったため、2億1,104万円の減となりました。また「投資的経費」は、1,455万円の減となりました。なお、平成24年度は、土地開発公社の清算や、中央西土地区画整理事業にかかる地域開発債の償還、また介護給付費や医療助成事業などの扶助費の増加といった財政課題に対応していくため、当初予算で5億2,000万円の赤字を含む予算編成となりました。この赤字額を解消するために「市政一新プログラム」に基づく経費削減のさらなる取組みに加えて、委託内容を検証するなど、効率、効果的な執行に取り組みました。